HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	コミュニケーション概論: 情報社会における旅行行動の特徴と課題 : 旅行者による情報コミュニケーションの諸相と統計から
Author(s)	岡本, 健
Citation	「コミュニケーション概論（講義担当教員：玉川惠子）」. 2011年10月19日講義資料. 東京成徳大学八千代キャンパス.
Issue Date	2011-10-19
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/47282
Type	learningobject
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	20111019handout.pdf (配布資料)

Instructions for use

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

コミュニケーション概論　水曜 4 限

「情報社会における旅行行動の特徴と課題 ―旅行者による情報コミュニケーションの諸相と統計から」

2011 年 10 月 19 日

講師：岡本 健(おかもと たけし)
連絡先：okamotot@cats.hokudai.ac.jp

① 授業の構成

【1 回目】情報社会における旅行行動の特徴とその課題
―旅行者による情報コミュニケーションの諸相と統計から

【2 回目】旅行コミュニケーションと地域振興のあり方
―情報社会における観光デザインを考える

② 授業の目的

情報社会と呼ばれている現在、観光や旅行をめぐって、どのようなコミュニケーションが起こっているのか、起こりうるのか、を事例やデータ、自分の経験などを用いて考察できるようになること。

③ 課題

【1 回目】の授業内容や、テキスト、自分自身の経験などを踏まえて、次のテーマについて、自由に論述してください。

1. 情報化した旅行者の特徴を整理する。
2. 1 のような旅行者が、ある地域を訪れることによって、どんなことが予想できるだろうか。
   良い面と悪い面の両方を考えてみよう。

〆切と提出方法：11 月 30 日(水)の本授業時に提出

④本日のスライドと配布資料は以下のサイトにアップロードします

「北海道大学学術成果コレクション(HUSCAP)」
http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/index.jsp

*大体 2，3 日中にはアップロードされます。

⑤授業内で挙げ、スライドに詳細を掲載していない資料

橋元良明・奥律哉・長尾嘉英・庄野徹(2010)
『ネオ・デジタルネイティブの誕生』ダイヤモンド社
大規模な調査によって、デジタルネイティブとは異なる特徴をもったネオ・デジタルネイティブを見出している。観光政策や観光商品開発のことを考える上でも参考になるデータが満載の書籍。

濱野智史(2008)『アーキテクチャの生態系』NTT 出版
普段何気なく使っている、google, Yahoo!, 2 ちゃんねる, mixi, YouTube, ニコニコ動画、などの情報環境がうまく整理されている。自分たちが使っている情報環境を知るのに最適。